



安城市立 安城北部小学校

令和6年度 学校教育グランドデザイン



教育基本法<教育の目的>

教育は、人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成を期して行わなければならない。

安城市教育委員会 指導方針

- ・人としての多様な在り方や生き方を考える教育を推進し、かけがえない自己の健康と命の大切さを実感し、自他の個性や生き方を認め、夢や希望をもって自分らしく生きる力としなやかに折れない心を育てる。
- ・個別最適な学びと協働的な学び(学び合い)の往還を意識した「主体的・対話的で深い学び」を通して、生涯にわたって自ら学び続ける力を育てる。
- ・一人一人を大切にし、家庭や地域社会、関係機関等と連携・協働しながら、きめ細やかで適切な指導・支援を行い、自己の可能性を伸ばす力を育てる。

幸せになる力が育つ学校

やさしく かしこく たくましく みんな輝く 北部小



子どもたちの幸せにつながる力

やさしく

自分や他の子の命を尊重
多様性を大切にする心

かしこく

自ら考え最適解を求める学び
協働的に問題解決をする学び

たくましく

しなやかに折れない心
病気から身を守る健康な体

具体策

○自分や人の命を大切にする力

- ⇒自己有用感の育成、居場所づくり
- ⇒「NO という力」の育成
- ⇒「SOS を察する力」の育成

○様々な個性を大切にする力

- ⇒互いをリスペクトする心の育成
- ⇒「こうありたい」と思う力の育成
- ⇒ペア学級などの異学年交流
- ⇒外国にルーツのある子やハンディを抱える子らとの関わり合い
- ⇒SDGs の視点に立った認め合い

○折り合う力

- ⇒クラス会議・学級活動等による人間関係づくり
- ⇒アンガーマネジメントの活用

○共に問題を解決する力

- ⇒グループや学級全体での学び合いの場や課題の設定
- ⇒協働的な学びと個別最適な学びを効果的に取り入れた学びの最適化
- ⇒最適解を求める場の工夫
- ⇒主体的に考え、聴き合う授業づくり

○情報を読み解き活用する力

- ⇒ICT 機器を活用した授業展開
- ⇒情報リテラシーの育成
- ⇒他の意見を能動的に聞く力の育成

○自分の思いを表現する力

- ⇒各教科や道徳科等でのスピーチ
- ⇒プレゼンテーションの場の活用

○悩みや困難を解決する力

- ⇒自己有用感・自尊感情の育成
- ⇒Q-U 検査の実施、「いのちの教育サポートプラン」と SC の活用
- ⇒「SOS を発信する力」の育成

○自分を元気づける回復力

- ⇒「人と比べない力」の浸透
- ⇒メンタルヘルスを意識した取組

○身を守り、健康を維持する力

- ⇒危険予知力の向上
- ⇒周りの人への配慮の意識化
- ⇒早寝・早起き・朝ご飯・挨拶
- ⇒休み時間等の主体的な運動遊び
- ⇒手洗いの継続・習慣化

幸せを創り出す家庭

- ・会話のある家庭に
- ・元気よく過ごす毎日に
- ・SOS を察し合える家庭に
- ・孤独感のない家庭に

幸せになる力を育てる チーム北部小

幸せを創り出す地域

- ・楽しさいっぱいの町に
- ・仲の良い町に
- ・SOS を察する町に

幸せを創り出す教職員

- ・子どもたちに願いをもち可能性を引き出す
- ・心身ともに健康な子どもを育てる
- ・ゲートキーパー力のある教職員となる